

脱炭素に一番近い島 屋久島CO2フリーの島づくり

電力のほぼすべてが水力発電で賄われている屋久島で、
CO2の発生量が実質ゼロとなる先進的な地域づくりに取り組んでいます。

屋久島は 「水力発電の島」

水力発電は、CO2排出量が少ないエネルギーです。屋久島では、豊富な水を活用し、年間発電量の約99.6%（令和2年度）を水力発電で賄っています。
「屋久島は月のうち35日間雨が降る」と言われるほど雨が多い地域です。
【年間平均降水量】
・平地：約4,500mm ・山間地：約8,000mm ※日本の年間平均降水量の2倍以上！！

CO2フリーと水力発電のつながり

CO2が発生しない水力発電を用いて電気自動車を走らせると、電気自動車から排出されるCO2は、ほぼゼロになります。
鹿児島県では、「CO2フリーの島づくり」として、電気自動車の普及促進に取り組んでいます。

電気自動車 充電設備の整備



島内には一般開放している急速充電設備が4か所あります。
また、ホテルや飲食店などにも普通充電設備が充実しています。

電気自動車の 展示会等



島内の方を中心に、「見て、触れて、乗って」電気自動車を体験してもらうため、電気自動車の展示会、体験会等を実施しています。

電気自動車の 導入



鹿児島県屋久島事務所の公用車に電気自動車を導入しています。



問合せ先 鹿児島県地球温暖化対策室 TEL 099-286-2586

このポスターの制作にあたり紙の調達及び印刷により排出されるCO2は、かごしまエコファンド制度を利用して、県内の森林吸収により相殺（カーボン・オフセット）しているため、実質的な排出量がゼロになっています。